

2019（令和元）年度
事業報告書

目 次

1	事業総括
2	障害者支援施設オイコニア
3	グループホーム笑和
4	相談支援事業所わらわ
5	デイサービスセンター緑林荘
6	デイサービスセンターさくら貝
7	居宅介護支援事業所りよくりん
8	職員研修
9	配食サービス事業
10	宿舎運営事業

2019（令和元）年度

事業総括

今年度から明成会中長期計画に基づいた単年度の事業計画を立てることにより、将来の展望を“見える化”し経営管理していくことで、より計画的な事業経営を行うことができるようになりました。

今年度は以下の項目を重点的に取り組みました

◇働き方改革により組織意識が変わり、職場環境やワーク・ライフ・バランスを考慮した多様な働き方に向けた業務運営を進めてきました。4月から年間5日の年次有給休暇の確実な取得に向け取り組み、10月末には取得率38.2%、3月末では今年度の目標数値を上回る67.8%となり平均取得日数は10.7日となりました。更にノー残業デーの実施等職員の心身のリフレッシュに努めました。また、日常業務の中でICT化を図ることで事務作業の軽減、業務の効率化に取り組みました。具体的には、オイコニアではシフト管理システムと勤怠管理システムの導入に向け専門業者と検討を重ねるとともに施設内全てのパソコンをインターネットに接続、コピー機の増設等行いました。緑林荘においてはタブレットを導入しケース記録等へ入力できる設備を整えました。

腰痛予防対策として、オイコニアでは高知県介護福祉機器等導入支援補助金を活用し3モーターベッドに10台交換し、また人材確保等支援助成金を活用し立位リフトを2台導入しました。さらに、10月から消費税増税に伴う報酬改定があり、介護職員等特定処遇改善加算を取得することで介護職員等の更なる処遇改善を行いました。

◇社会福祉充実計画に基づき、昨年7月から設計を始めたオイコニア厨房増改築工事は、6月に建築工事の入札を実施（落札価格6,787万円、小松建設株式会社）、7月1日に着工し、工期が当初の計画から約1か月遅れましたが2月4日に完成しました。建築工事費、設計・監理費等を含めた総事業費は7,130万円となり、施設整備等積立金5,500万円を取崩し、残りは収支差額から支出することとしました。この工事により、約100㎡増築したことで厨房業務の効率化と職員休憩室等の改善を図ることができました。

◇「人材確保・育成・定着」に向け、魅力ある職場環境の整備による介護職員の離職防止と介護業界のイメージアップによる新たな人材の確保を目的とした「高知県福祉・介護事業所認証評価制度」の認証取得に向け取り組みを始めました。委員会を設置するとともに、支援セミナーの受講や評価基準の新規採用者の育成体制等について検討し、同時に取り組みを実行することで次年度の認証取得申請が可能になりました。

職員の状況としては、4月以降5名の正職員、パート職員を2名採用することができ、その一方で正職員2名が退職することとなりました。来年度に向け、4名（生活支援員3名）採用することができましたが、近年新規採用者のうち経験のない中途採用者を育成する仕組みづくりが急務となり、認証評価制度の評価基準に対応する課題解決に向け検討を重ねてきました。

また、人材確保対策の一つとして65歳までの雇用継続制度を70歳までに見直しすることで高年齢者の就労拡大を図るとともに介護人材の確保につながるものと期待しています。

◇地域における公益的な取組を実施する責務が規定されたことから、地域貢献という視点で、どのような活動が必要とされているか検討するため1月に地元の民生委員や評議員等と話合いました。その結果、3月に5名の外部委員のもと具体的な活動計画等を検討する推進委員会を設置し、“明成会地域サポート隊”を組織し、次年度から計画的に取組むこととなりました。

また、10月にはしまんと町社会福祉協議会の声掛けにより四万十町内の5つの社会福祉法人が集まり“公益的な取組み推進”に関する意見交換会が行われました。初回は幅広い意見交換が行われましたが、今後も複数法人連携による公益的な取組みについて積極的に協力体制を取っていくこととしました。

◇大規模災害対策として、危機管理・防災対策委員会を定期的開催し、事業継続計画（BCP）の検証・見直しを図るとともに法人規模で夜間の参集訓練や机上型訓練を実施しました。また、福祉避難所として地域の自主防災組織等各関係機関と連携し、開設・運営訓練を12月に行い、その役割の理解に努めました。さらには、高知県地震防災対策推進事業補助金を活用し、大型防災倉庫を駐車場に設置することができました。

2月から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種研修会や行事等が中止となる中、感染予防対策として手洗いの徹底、出勤時の体温チェック、マスクの着用等取組みを行うとともに施設内で発生した場合の対応についてシミュレーションを行ってきました。また、職員個々の行動制限、ウイルスを持ち込まないための対策と不安から強いストレスを感じる職員もでていますが、感染拡大予防対策の徹底に努めることとしました。

理事等役員の改選について、6月の定時評議員会をもって任期が満了となり役員改選が行われました。岩崎良子理事が退任し、後任に西村知絵理事が選任され、その他の役員は再任となり令和3年度の定時評議員会の終結の時までの2年間の任期となりました。

その他、収支状況については財務報告にて報告し、以上を令和元年度の総括とします。

(1) 理事会・評議員会の開催

【 理 事 会 】

第1回 理事会 《令和元年5月29日（水）午後2時00分～午後3時50分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席、顧問：出席／議長：大崎理事＞

報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

第1号議案 平成30年度事業報告書の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成30年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りよくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 平成30年度決算関係書類の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜平成30年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 社会福祉充実計画の変更に係る承認について

【提案理由】

経理規程第75条及び第76条の規定、社会福祉法第55条の3第1項の規定により社会福祉充実計画の変更による審議

第4号議案 次期役員（理事・監事）及び顧問について

【提案理由】

定款第15条第1項及び第16条第1項の規定により、次期理事・監事の選任に向けた事前検討。定款第23条第2項により、顧問について審議

第5号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第6号議案 「ご利用者所持金等の取扱に関する規程」の改正について

【提案理由】

人事異動に伴う担当職員の変更

第7号議案 厨房増改築工事の設計内容及び見積り金額について

【提案理由】

設計図及び見積り金額等についての審議

第8号議案 厨房増改築工事の指名競争入札参加業者の選定について

【提案理由】

経理規程第70条による指名競争入札を行うに当たり、指名競争入札参加業者の選定審議

第9号議案 中長期計画について

【提案理由】

法人の中長期計画についての審議

第2回 理事会 《令和元年6月18日（火）午後4時00分～午後4時15分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：吉岡理事＞

第1号議案 理事長・副理事長・常務理事の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による理事長・副理事長・常務理事の選定

第3回 理事会 《令和元年8月20日（火）午前10時00分～午前11時50分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：瀧澤理事＞

報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

②厨房増改築工事の指名競争入札の結果

第1号議案 令和元年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

[配食事業拠点区分]

第2号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「給与規程」

【提案理由】

福祉・介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算に基づき関連する条項の見直し。

○「契約職員就業規則」

【提案理由】

福祉・介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算に基づき関連する条項の見直し及び通勤手当の見直し。

無期雇用契約へ転換後、定年を満70歳まで延長する見直し。

○「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

福祉・介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算に基づき関連する条項の見直し及び通勤手当の見直し。

再雇用期間を満70歳まで延長する見直し。

第4回 理事会 《令和元年11月28日（木）午後2時00分～午後3時35分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：八木理事＞

報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

第1号議案 令和元年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]

[居宅介護支援事業拠点区分]

[職員宿舍運営事業拠点区分]

第2号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第5回 理事会 《令和2年3月16日（月）午後2時00分～午後3時55分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席／議長：西村理事＞

報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

第1号議案 2019（令和元）年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔職員宿舍運営事業拠点区分〕

第2号議案 2020（令和2）年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における2019年度事業計画書の審議

第3号議案 2020（令和2）年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における2019年度収支予算書の審議

第4号議案 定款の一部変更について

【提案理由】

オイコニア厨房増改築工事にともなう基本財産（建物）の床面積の変更

第5号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「給与規程」

【提案理由】

勤続5年の正職員に対して勤続功労金支給にともなう一部改正

○「障害者支援施設オイコニア運営規程」

【提案理由】

営業日の表記方法の変更にともなう一部改正

○「居宅介護支援事業所りよくりん運営規程」

【提案理由】

介護保険法改正による運営規程全般の見直しにともなう一部改正

○「デイサービスセンターさくら貝運営推進会議規程」

【提案理由】

運営推進会議の規程の策定

○「明成会地域サポート隊の設置並びに推進委員会規程」

【提案理由】

- 「地域における公益的な取組」を積極的に行っていくため、明成会地域サポート隊を設置しその活動内容を検討するための推進委員会規程を策定
- 「委員の報酬並びに費用弁償等に関する規程」

【提案理由】

明成会における各委員の報酬並びに費用弁償等に関して別紙の規程を策定

【 評 議 員 会 】

定時 評議員会 《令和元年6月18日（火）午後2時00分～午後3時40分》

評議員：10名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：東慶人評議員

議事録署名人：国元英二評議員、笹岡志乃評議員

報告事項

- 1 平成30年度 第1～4次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 平成30年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 2019年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 2019年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）

第1号議案 平成30年度決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜平成30年度 決算関係書類＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 社会福祉充実計画の変更に係る承認について

【提案理由】

社会福祉法第55条の2第7項の規定による審議

平成30年度～平成31年度社会福祉充実計画の変更

第3号議案 次期役員（理事・監事）の選任及び顧問について

【提案理由】

定款第10条第1項第1号の規定による理事及び監事の任期満了に伴う選任

定款第23条第2項の規定による顧問の任期満了に伴う審議

第2回 評議員会 《令和元年12月11日（水）午後3時00分～午後4時20分》

評議員：11名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：吉永宣生評議員

議事録署名人：戸田晶秀評議員、佐々木香代評議員

報告事項

- 1 2019（令和元）年度第1～2次補正収支予算書
- 2 2019（令和元）年度事業経過報告及び予算執行状況
- 3 明成会中長期計画（2019年度～2023年度）

(2) 役職員の研修等に関する事業

〔障害者支援施設オイコニア〕

- | | |
|----------|--|
| 4月18日(木) | 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議(香川県/大崎) |
| 19日(金) | 高知県身体障害者(児)施設協会総会(高知市/岡村) |
| 25日(木) | 高知県経営協青年会理事会(高知市/大崎・矢野) |
| 5月7日(火) | 社会的擁護関係施設第三者評価事業「評価調査者」養成研修会
(東京都/大崎) |
| 10日(金) | |
| 13日(月) | 中・四国身体障害者施設協議会総会及び施設長研修会(鳥取県/岡村) |
| 14日(火) | |
| 16日(木) | 高知県経営協総会・青年会総会(高知市/岡村・大崎・矢野) |
| 6月10日(月) | 高知家統一基本ケアセミナー(高知市/吉村・田邊) |
| | 高知県社会福祉法人経営青年会理事会及び災害福祉支援委員会(高知市/大崎) |
| 25日(火) | 安全運転管理者講習(四万十町/岡村) |
| 28日(金) | 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議及び青年検討会(岡山市/大崎) |
| 7月5日(金) | 災害支援セミナー及び全国経営協中国・四国ブロック会議(岡山市/大崎) |
| 8日(月) | 高知県内・外大学等訪問(岡村・矢野) |
| 9日(火) | |
| 23日(火) | 障害福祉サービス事業所等向け行政説明会(高知市/矢野・吉岡) |
| 25日(木) | 「南海トラフ地震臨時情報」説明会(須崎市/岡村) |
| 29日(月) | 高知県立大学介護福祉実習連絡協議会及び事例研究発表会(高知市/泥谷) |
| 8月2日(金) | 中国・四国ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎・矢野) |
| 6日(火) | 高知県経営協セミナー(前期)(高知市/岡村・大崎) |
| 25日(日) | 高知県介護職員等喀痰吸引等研修<他8日間>(高知市/今城里美) |
| 27日(火) | 第43回全国身体障害者施設協議会研究大会
(札幌市/岡村・武政・長谷川・西川) |
| 29日(木) | |
| 30日(金) | 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議及び青年検討会(岡山市/大崎) |
| 9月24日(火) | 高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修(高知市/岡村) |
| | 高知家統一基本ケアセミナー(高知市/吉村) |
| 25日(水) | 第46回国際福祉機器展(東京ビッグサイト/竹内・津野・市川) |
| 27日(金) | |
| 30日(月) | 県経営協第3回災害福祉支援委員会(高知市/大崎) |
| 10月5日(土) | 第2回社会福祉法人経営青年会セミナー(四万十市/大崎・矢野) |
| 17日(月) | 第44回中・四国身体障害者施設職員研修大会(徳島大会)
(徳島市/岡村・矢野・中平美佳・山脇) |
| 18日(火) | |
| 25日(金) | 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議及び青年検討会(岡山市/大崎) |
| 30日(水) | 高知県経営協幡多ブロックセミナーBCP策定セミナー(四万十市/大崎) |
| 11月7日(木) | 高知県身体障害者(児)施設協会生活部会研修会
(高知市/岡村・泥谷・黒岩) |

- 8月24日(土) 高知県介護支援専門員連絡協議会中央西ブロック研修会(いの町/北川)
- 9月19日(木) 高知県老施協21世紀委員会西ブロック会
ノーリフティング人材育成研修(宿毛市/橋本)
- 25日(水) } 第46回国際福祉機器展(東京ビッグサイト/北川)
- 27日(金) }
- 10月29日(火) } 全国老人福祉施設研究会議(松山市/西村)
- 30日(水) }
- 11月 8日(金) 高知県カンントリーミーティング(高知市/西村美枝)
- 14日(木) 第2回高知県介護支援専門員連絡協議会高幡ブロック研修会(中土佐町/北川)
- 12月24日(火) 須崎福祉保健所管内災害時要配慮者対策研修会(須崎市/西村知絵)
- 1月21日(火) 四万十町通所サービス連絡会(四万十町/西村美枝・橋本美貴)
- 22日(水) } 第18回四国老施協セミナー(徳島市/西村知絵)
- 2月 4日(火) 四万十町通所サービス連絡会(四万十町/土居・中城・大倉・清水)

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 4月23日(火) 高知県老人福祉施設協議会総会(高知市/岩崎)
- 6月11日(火) 西ブロック老施協 看護職員勉強会(西土佐/窪田)
- 28日(金) 西ブロック老施協 介護職員勉強会(西土佐/河上)
- 四万十町通所事業所連絡会(四万十町/岩崎・窪田)
- 7月 3日(水) } 四国老人福祉施設関係者研究大会(高松市/岩崎)
- 4日(木) }
- 25日(木) 「南海トラフ地震臨時情報」説明会(須崎市/岩崎)
- 9月19日(木) 高知県老施協21世紀委員会西ブロック会
ノーリフティング人材育成研修(宿毛市/河上)
- 10月29日(火) } 全国老人福祉施設研究会議(松山市/岩崎)
- 30日(水) }
- 12月24日(火) 須崎福祉保健所管内災害時要配慮者対策研修会(須崎市/岩崎)
- 1月21日(火) } 第18回四国老施協セミナー(徳島市/岩崎)
- 22日(水) }
- 2月 4日(火) 四万十町通所サービス連絡会(四万十町/岩崎)

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- 4月19日(金) 高幡相談支援連絡会(須崎市/豊田・山崎)
- 6月28日(金) 高幡相談支援連絡会(須崎市/豊田・山崎)
- 7月25日(木) 障害福祉サービス事業所等向け行政説明会(四万十市/大崎)
- 8月22日(木) 高幡相談支援連絡会(須崎市/山崎)
- 9月 7日(土) } 第10回四万十・川ガキ楽校(四万十市/豊田)
- 9日(月) }

- 10月17日(木) 高幡相談支援連絡会(須崎市/豊田・山崎)
- 12月6日(金) 高幡相談支援連絡会(中土佐町/豊田・山崎)
- 16日(月) } 高知県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(高知市/豊田)
- 17日(火) }
- 1月23日(木) } 高知県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(高知市/豊田)
- 24日(金) }
- 2月22日(土) 高知県精神障害者地域移行・地域生活支援関係者研修(高知市/豊田)
- 26日(水) 高幡相談支援連絡会(中土佐町/豊田・山崎)

(3) 施設・設備整備等の事業

今年度の施設・設備整備事業は、次のとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載>

[オイコニア]

[備品]

・ノートパソコン（買替）	173,232円	<四国電話工業(株)>
・コピー機（入替）リース購入	1,632,528円	<キャノンシステムアンドサポート(株)>
・立位リフト2台購入	690,000円	<(有)オフィスウエハラ>
・3モーターベッド10台（入替）	1,232,000円	<ワタキューセイモア(株)>
・機械浴室用天井走行リフト（入替）	456,500円	<(株)メディプレスト>
・防災倉庫（基礎工事は別途）	1,595,000円	<小松建設(株)>

[ソフトウェア・広報]

・シフト管理システム導入費	1,620,000円	<(株)RADソリューションズ>
・勤怠管理システム導入費	540,000円	<(株)RADソリューションズ>
・ウェブサイト制作費	540,000円	<(株)RADソリューションズ>
・栄養ケア・マネジメントシステム	168,300円	<陽和産業(株)>

[修繕他]

・個浴槽昇降用モーター修理	206,334円	<(株)メディプレスト>
・施設内インターネット接続工事	169,128円	<四国電話工業(株)>
・セキュリティ対策UTM（総合脅威管理）	198,000円	<四国電話工業(株)>
・防災倉庫新築工事に伴う建築確認他	407,000円	<横山建築設計事務所>
・玄関手洗い器設置工事	644,600円	<小松建設(株)>
・洋式便器一式取替え工事（管理棟）	242,000円	<三栄工業(株)>

[緑 林 荘]

[車輛]

・送迎車輛（日産バネット）購入	2,400,000円	<高知日産プリンス販売(株)>
-----------------	------------	-----------------

[備品]

・パソコン3台及びサーバー機（入替）	1,238,652円	<陽和産業(株)>
・タブレット増設及びルーター設備他	181,148円	<陽和産業(株)>

[ソフトウェア]

・NDほのぼのNEXT5年間使用権更新	1,355,400円	<陽和産業(株)>
---------------------	------------	-----------

[さ く ら 貝]

[備品]

・コピー機（入替）リース購入	928,800円	<リコーリース(株)>
・ノートパソコン（買替）	173,880円	<四国電話工業(株)>
・空気清浄器購入	116,000円	<優丸電気>

[笑 和]

[車輛]

・中古車輛購入（スバル：ステラ）	418,684円	<(有)台地モータース>
------------------	----------	--------------

[修繕他]

・植栽管理	131,760円	<(株)南国緑地建設>
-------	----------	-------------

・小便器取付工事 831,600 円 <小松建設(株)>

〔 りょくりん 〕

〔備品〕

・パソコン (入替) 131,544 円 <陽和産業(株)>

〔 配 食 〕

・配送車輛 (ダイハツ) 1,729,000 円 <(有)台地モータース>

〔 職 員 宿 舎 〕

〔修繕〕

・床張替工事 (204号室) 179,300 円 <小松建設(株)>

・IH調理器 125,000 円 <(有)高橋金物店>

[障害者総合支援法による障害福祉サービス事業]

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、夢の実現にむけて良質かつ安心、安全なサービス提供に努めた。また、創作活動や機能訓練等による身体機能の維持、向上を図るとともに、個別支援計画を通じてご利用者個々の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、その人にとって過ごしやすい環境となるよう配慮し、より自立した生活へつながるよう取り組んだ。

日中活動事業である生活介護サービスについては、日中活動支援プログラムとして昨年度より取り組んでいるスヌーズレンをより内容の濃いものに工夫し、運動会の開催等、サービス内容の充実にむけた取り組みを行った。また、アンケートでやりたいことや課題などの聞き取りを実施し、活動内容の見直しを図ることで業務の効率化ができ、内容も充実へとつなげることができた。さらに地域で開催したボッチャ大会にも参加をし、地域との交流を図ることができた。

居住支援事業の施設入所支援については、ご利用者のプライバシーの尊重に努めたうえで、立位リフトや3モーターベッドを導入し、快適で自立した生活につながるような環境整備を行った。また、業務見直しにむけてノーリフト、安全対策委員会を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。

短期入所サービスについては、定期利用者の増加や新規利用者の確保により前年延べ人数より増加している。問い合わせも続いており、利用予定も数カ月先まで埋まっているため、緊急時の受入れについては、長期で引き受けることができない状態である。また、マンツーマンでの対応が必要な重度の知的障害者の受入れ頻度が増したことで職員の配置に苦慮している。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、職員は勤務前の検温やマスクの着用、施設内の換気、消毒、面会者等の制限といった対策を講じた。

1. 日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。1月には各委員会が年間の活動報告をまとめ事例研究発表を行うことで、全職員が委員会活動の理解を行った。

1-①相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

1－②個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

1－③日中活動

ご利用者が明日への楽しみを持っていただけることを目標に取り組みを行ってきた。特に昨年度より取り組んでいるスヌーズレンに力を入れ、活動回数の増加、手順書を作成し、どの職員でも実施できるようにした。また作品作りについては、イメージ図の作成や収納ケースの準備を行い、次に関わる職員が分かりやすいように改善を行った。

今年度、新たな取り組みとして春に運動会を開催し、ご利用者と職員混合のチームに分かれ、様々な種目を一緒に楽しみながら行い白熱した大会となった。また、地域で開催したボッチャ大会にも参加をし、地域との交流を図ることができた。

年度途中には日中活動についてのアンケートを実施し、上がってきた課題について改善を行った。

そのほか提案され実施できなかった活動内容については、来年度に引継ぎを行った。

1－④安全対策

これまでヒヤリハットの件数が少ないことが課題であった。事故を未然に防ぐにはヒヤリハットを早めに出してもらうことが重要であるため、気づいたら上げやすい方法を実施した。これまでは記入方式であったが、タブレットを活用して入力方式にした。また、その月に有効なヒヤリハットを上げた職員を表彰した結果、昨年と比べてヒヤリハットの件数が増加し、委員としての改善策も早めに提案することができた。

また、介助時に起きた事故の内容から対応方法を検討するとともに、再発予防の啓発を行った。

1－⑤介護技術

「高知県介護福祉機器等導入支援事業」より3モーターベッドの購入及び厚生労働省の「人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース）」を活用し、立位リフトの購入を行い、ノーリフティングケアの充実と腰痛予防への取り組みを行った。また、危険を伴わないご利用者のベッド柵は外し、職員の介助時の負担軽減を図るとともに、ご利用者には安楽な姿勢の支援を行った。

来年度は、ノーリフトだけではなく、生活全般へ目を向けて検討、改善を行っていきけるよう取り組みをしていく。

1－⑥業務改善

業務内での改善点を抽出し、定期的に話し合いの場を持ち、改善案を出していくことを行った。タブレットの活用でも、排泄の記録が主だったが、「少しずつ入力する情報を増やして

いく」として、口腔ケアの入力も追加した。

今後は、随時課題の抽出を行いながら業務見直し委員会だけでなく、他の委員会とも連携し、より効率よく業務の改善を行えるように取り組みをしていく。

1－⑦懇親会

ご利用者がより安心して快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

1－⑧苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は第三者委員の方より、もっと自分達の存在を知ってもらい、話しやすくなればと提案があり、行事に合わせての訪問があった。結果、年間4回の訪問があり、ご利用者への聞き取りや意見箱の確認を行ったが、相談や苦情はなかった。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和2年3月31日現在

	南 国 市	高 知 市	四 万 十 市	宿 毛 市	市 部 計	土 佐 町	佐 川 町	日 高 村	越 知 町	梶 原 町	中 土 佐 町	四 万 十 町	黒 潮 町	大 月 町	町 村 部 計	合 計
男性	1	1	2	2	6	1	1	0	1	1	6	13	2	3	28	34
女性	0	3	1	0	4	0	1	1	0	1	0	8	1	0	12	16
計	1	4	3	2	10	1	2	1	1	2	6	21	3	3	40	50

2. 障害別一覧表

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	2	9
筋ジストロフィー	1	0	1
脊髄損傷	8	0	8
脳疾患による後遺症	7	6	13
頭部外傷後遺症	3	1	4
麻痺による機能障害	0	2	2
水頭症	1	0	1
パーキンソン病	2	0	2
ダウン症	1	1	2
知的障害	2	0	2
自閉症	1	1	2
その他	1	3	4
合計	34	16	50

3. 障害・療育手帳別一覧表

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	24	11	35
第1種2級	2	3	5
第1種3級	1	0	1
第2種2級	1	0	1
第2種3級	1	0	1
第2種5級	1	0	1
療育 A1	3	0	3
療育 A2	0	2	2
手帳なし	1	0	1
合計	34	16	50

4. 年齢別一覧表

年齢	男性	女性	合計
20歳～29歳	0	0	0
30歳～39歳	4	1	5
40歳～49歳	5	3	8
50歳～59歳	5	1	6
60歳～69歳	15	3	18
70歳～79歳	4	6	10
80歳 以上	1	2	3
合計	34	16	50

5. 平均年齢

令和2年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	30歳7ヶ月	81歳9ヶ月	59歳0ヶ月	60歳8か月
女性	36歳3ヶ月	89歳9ヶ月	64歳3ヵ月	

6. 食費等徴収額

令和2年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	6	16	45,143	3
2	14,887	1	17	45,360	8
3	20,901	1	18	45,391	2
4	25,489	1	19	47,158	1
5	31,379	1	20	47,437	1
6	35,750	1	21	47,623	1
7	36,215	2	22	47,685	1
8	41,268	1	23	48,739	1
9	42,105	1	24	49,359	1
10	44,027	1	25	50,630	1
11	44,151	1	26	50,878	1
12	44,585	1	27	52,410	1
13	44,709	1	28	53,110	7
14	44,740	1	合計	50	
15	44,771	1	合計		50

7. 上限月額徴収額

令和2年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	50
合 計		50

8. 障害程度区分

令和2年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	1	0	1
4	6	1	7
5	7	3	10
6	20	12	32
合 計	34	16	50

平均障害程度区分 5.5

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
退 所	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
在籍者数	35	15	34	15	33	16	33	16	33	16	34	16	34	16

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
在籍者数	34	16	34	16	34	16	34	16	34	16			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,410日	4日	86日	90日
5月	1,401日	13日	112日	125日
6月	1,397日	3日	84日	87日
7月	1,476日	6日	37日	43日
8月	1,479日	14日	42日	56日
9月	1,452日	4日	33日	37日
10月	1,513日	6日	31日	37日
11月	1,494日	1日	5日	6日
12月	1,531日	11日	8日	19日
1月	1,480日	16日	54日	70日
2月	1,428日	3日	19日	22日
3月	1,480日	0日	70日	70日
合計	17,541日	81日	581日	662日

前年度延べ日数 17,618日

11. 金銭管理状況（令和2年3月31日現在）

	男性	女性	計
全て自己管理	4	2	6
一部自己管理	6	6	12
全て施設管理	18	6	24
家族が管理	3	1	4
成年後見人	3	1	4
計	34	16	50

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	57日	8人	11月	52日	7人
5月	60日	8人	12月	52日	8人
6月	47日	8人	1月	40日	8人
7月	55日	8人	2月	62日	8人
8月	54日	8人	3月	65日	8人
9月	55日	8人			
10月	57日	8人	合 計	656日	95人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 708日

2. 障害程度区分

令和2年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
2	2	3	5
3	0	0	0
4	1	1	2
5	1	0	1
6	4	4	8
合 計	2	3	5

平均障害程度区分 3.9

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	13人	75日	11月	14人	80日
5月	12人	70日	12月	13人	83日
6月	15人	53日	1月	10人	74日
7月	12人	77日	2月	14人	81日
8月	12人	75日	3月	13人	85日
9月	11人	76日			
10月	13人	78日	合 計	152人	907日

※支給決定市町村：高知市・土佐市・須崎市・佐川町・黒潮町
越知町・津野町・中土佐町・いの町
四万十町

前年度延べ日数 775日

2. 障害支援区分

令和2年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	4	2	6
4	4	3	7
5	6	2	8
6	5	1	6
合 計	19	8	27

平均障害程度区分 4.0

日中一時支援（タイムステイ）

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数
12月	1人	1日
3月	1人	1日
合 計	2人	2日

※ 支給決定市町村：四万十町

前年度延べ日数 8日

2. 障害程度区分

令和2年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
2（児童）	1	0	1
合 計	1	0	1

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
平成31年4月6日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。また、近隣部落の方々と交流を図る。
令和元年6月25日 令和元年8月21日 令和2年2月20日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
令和元年7月5日	夏祭り	屋内	1回	ご利用者・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
令和元年12月14日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご家族を招き、ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和2年1月17日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供をするとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、金曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。

(園内喫茶)

毎週木曜日に「由菜の里」の出張喫茶を開店している。

(整容)

美容院・理髪店へは、ご利用者の希望に応じ対応を行った。一方、外出できないご利用者には、月1回外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

(単独外出)

単独外出が出来るご利用者については、安全面など留意点を話し合い、本人の希望を尊重し外出支援を行った。

2. 外出行事

実施日	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
4月	外食(町内) 2回	6人	10月	外食(四万十市) 2回	6人
	ドライブ(町内)	11人		魚釣り	3人
5月	ドライブ(町内) 2回	4人	11月	外食(須崎市) 2回	8人
6月	障害者スポーツ大会(春野)	6人	12月	ショッピング(高知市) 2回	9人
	ドライブ(四万十市)	4人		イルミネーション(町内)	6人
7月	外食(中土佐町) 2回	8人		1月	外食(中土佐町) 2回
	外食(黒潮町)	2人	初詣		5人
	野球観戦(高知市)	4人	2月	いちご狩り(南国市) 2回	10人
8月	外食(町内)	4人		ボッチャ大会(町内)	5人
	外食(中土佐町) 2回	3人	3月	お花見ドライブ	5人
9月	外食(高知市)	2人	※外出行事年回合計32回実施		
	外食(町内) 2回	7人			

<外出について>

令和2年3月31日現在

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	4	3	7
自己決定で付き添って外出している	24	10	34
外出について意思表示が困難	6	3	9
計	34	16	50

※自己決定の困難な(意思表示の困難)ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
令和元年5月24日	入所者：36名 通所者：1名 短期：3名 職員：16名 計56名	厨房を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。
令和元年7月30日	入所者：41名 通所者：2名 短期：2名 職員：14名 実習生：1名 計60名	昼間の地震を想定し、避難を行う。
令和元年9月25日	入所者：39名 通所者：1名 短期：2名 職員：15名 計57名	総雨量が500ミリを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
令和元年11月18日	入所者：35名 通所者：4名 短期：2名 職員：14名 計55名	夜間の地震を想定し、避難を行う。
令和2年1月28日	入所者：42名 通所者：0名 短期：2名 職員：18名 計62名	夜間に地震が発生し、せせらぎ汚物処理室より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う
令和2年3月24日	入所者：41名 通所者：3名 短期：2名 職員：15名 計61名	厨房を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。

食生活支援の状況

今年度も3食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。9月より厨房の増改築工事が始まり通常を選択食を行えない日もあったが、工事の進捗状況に合わせ食事内容を変更しながらご利用者に喜ばれる安全な食事提供に努めた。2月に工事が終了し、非汚染区域と汚染区域の区画が明確にできたことや、新しく温蔵庫やプラスチック&フリーザーなどの厨房機器を整備し、これまで以上に衛生的に食材を管理できるようになった。

給食食材管理においては、月間管理を行いながら調整を実施してきたが、栄養補助食品の使用増加や工事によるメニューの変更などにより月間調整が難しく予算額を圧迫する結果となった。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常のご利用者とのコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 6月 四万十町うまいもの店 8月 サマーウェディング
2月 昭和なつかしレストラン

・今年度の主な行事食

- 4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当
- 7月 夏まつり
- 12月 クリスマス年忘れ会（皿鉢・寿司・たたき・クリスマスケーキなど）
- 1月 おせち料理・新年会（皿鉢・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。リハビリ内容は身体機能面のみに目を向けるのではなく、各個人にとって価値のある活動を展開し、各疾患の特性に応じた幅広い活動を提供した。車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。さらに、近年、増加傾向にある精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた環境設定、アプローチを行った。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

高次脳機能障害のあるご利用者に対し、町内での買い物支援を行った。財布を持ち、自ら支払いができるよう環境設定し、実際場面での体験をすることができた。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。例年同様、日中活動の時間を利用し、専門学生による創作活動を実施。自助具や作業方法の工夫を行い、自力で行える環境設定の中で、創作活動だけでなく交流の場も提供することができた。通所ご利用者等、これまで参加したことのなかった方の参加を促すことができた。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。購入を検討する際、リハ室に準備してある自助具を使用することで、生活場面で使用して実際に検討することができた。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者48名、通所者8名、短期入所者5名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～5回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計13～21名、平均14.1名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら今年も取り組みを行ったが、今年度は心不全及び持病悪化にて2名のご利用者が死亡された。そのうち1名の方は、ご利用者及び家族の強い希望にてオイコニアで看取りを行った。住み慣れたオイコニアで終末を迎えられたことに満足して頂いた。又、肺炎や持病の悪化等にて受診や入院も多く、入院に関しては、数名の同じご利用者が肺炎にて何度も入院をし、前年度より延べ日数が約160日増えた。誤飲性肺炎のご利用者（経管栄養の方）に対しては、入院の間隔を少しでも伸ばせるよう、水分量を減量した高カロリーな物に変更した。引き続き健康で過ごせるよう、日々個々の状態把握に努める。

毎年インフルエンザワクチンの予防接種を11月～12月にかけて全ご利用者、職員を対象に実施してきたが、流行時期が速まる傾向にあり今年度より職員を10月へ、ご利用者は11月へ変更し、実施した。また、施設内感染の予防対策として、全職員に周知徹底するなど衛生管理の強化を行ったことで、インフルエンザやノロウイルスの感染を予防することができた。

新たに新型コロナウイルス感染拡大する中、面会制限を行い外出は控え、職員出勤時には体温測定、マスク着用、手洗いうがいを徹底し、持ち込まないよう注意を促してきた。又、換気やアルコール消毒を継続し、感染対策の強化に努める。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
10月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
11月	ご利用者季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
11月	職員健康診断の実施（検尿・採血）
12～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回/月の指導 嘱託医師にて2回/週（水・土）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	41人	70回	外 科	2人	3回
内 科	11人	29回	脳神経外科	5人	15回
泌尿器科	4人	9回	神経内科	4人	18回
整形外科	3人	6回	精神科	7人	14回
皮膚科	6人	8回	眼科	6人	10回
婦人科	0人	0回	総合診療科	0人	0回
耳鼻科	4人	7回	胃瘻交換	6人	8回
乳腺外来科	1人	3回	合 計	100人	200回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
外 科	1人	1人	15日
内 科	12人	16人	474日
脳神経外科	人	人	日
眼 科	1人	1人	7日
精 神 科	人	人	日
神経内科	1人	1人	64日
整形外科	1人	1人	21日
合 計	16人	20人	581日

4. 特別な医療行為者数

令和2年3月31日現在

区 分	人 数	
気管切開の処置	1人	
経管栄養	経 鼻	1人
	胃ろう	6人
バルンカテーテル	8人	
合計（重複者あり）	16人	

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図るとともに、地域行事等への参加も行い、地域とのつながりができるよう支援を行った。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように努めた。

今年度は利用定員9名を満床とするための居室変更を行い、女性のみを受け入れ態勢を男性も受入れ可能となるようしたことで、6月下旬に体験利用で男性の受け入れをし、7月中旬にグループホーム利用の支給決定が決まり、正式入所したことで満床となる。

ご利用者9名中8名は日により状態に変動はあるが、個々の状態に合わせた対応を行うことでグループホームでの生活を継続することができている。しかし、精神疾患のある女性ご利用者は精神面での安定を図ることが難しく、4月（前年度3月上旬）から6月上旬まで入院、そして9月中旬から2月末まで入院と入院期間（いずれの期間も途中で数日の利用あり）が長期となっており、今後も入退院を繰り返すことが予想されている。

環境整備については、急遽トイレの汚染・尿臭対策として小便器の設置工事を1ヶ所行ったことで汚染頻度が減少し、尿臭も改善される。また、防犯カメラ6台の設置工事も行い、防犯対策の強化を図ることができ、より快適で安心した生活を確保することができた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、職員は勤務前の検温やマスクの着用、施設内の換気、消毒といった対策を講じた。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容

	行事名
4月	誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）
5月	誕生日会、避難訓練（昼間地震想定）
6月	クッキング、避難訓練（夜間風水害想定）
7月	ショッピング（フジグラン四万十）、避難訓練（夜間地震想定）
8月	外食の日（ボルゲリ）、避難訓練（夜間火災想定）
9月	誕生日会、由菜の里カレーまつり、避難訓練（昼間風水害想定）
10月	誕生日会、明成会秋まつり、避難訓練（昼間火災想定）
11月	誕生日会、あさぎりバザー、避難訓練（昼間地震想定）

1 2月	外食の日（えきめし）、ショッピング（イオン）、避難訓練（夜間風水害）
1月	誕生日会、避難訓練（夜間火災想定）
2月	誕生日会、避難訓練（夜間地震想定）
3月	避難訓練（昼間風水害想定）

3 市町村別入所者数（令和2年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	4	3	7
中 土 佐 町	1	1	2
合 計	5	4	9

4 年齢別入所者数（令和2年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	1	2	3
30歳～39歳	0	1	1
40歳～49歳	1	0	1
50歳～59歳	1	0	1
60歳～64歳	2	1	3
65歳以上	0	0	0
合 計	5	4	9

	男性	女性
最 小 年 齢	25歳6ヶ月	22歳2ヶ月
最 高 年 齢	62歳1ヶ月	61歳4ヶ月
平 均	50歳5ヶ月	36歳5ヶ月
男 女 平 均	44歳2ヶ月	

5 障害支援区分別利用実績集計表（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当 (体験含む)	0	2	29	61	57	40	31	30	33	31	38	57	409
区分1	57	59	60	62	61	60	62	59	59	55	55	61	710
区分2	80	77	70	82	82	84	83	85	78	75	77	79	952
区分3	53	51	43	57	46	50	45	51	51	45	41	54	587
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	190	189	202	262	246	234	221	225	221	206	211	251	2,658

6 入院状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
内 科	1	1	6
精 神 科	1	5	228
合 計	2	6	234

7 外泊状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	実人員	延人数	延べ日数
4月	4	10	20
5月	4	11	29
6月	4	14	46
7月	3	7	16
8月	5	13	33
9月	3	11	18
10月	2	6	23
11月	4	9	15
12月	4	12	29
1月	5	14	42
2月	4	14	30
3月	5	13	28
合 計	47	134	329

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も四万十町役場健康福祉課や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んできた。

令和2年3月末現在、計画相談で受けている方は100名（児童2名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は13名である。相談支援専門員が2名体制になったことで、より深く個々のケースに関わることができるようになり、計画相談だけでなく、日頃困っていることについての相談ごとについても対応している。また、自立支援協議会や個別支援会議、ケース共有会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行うことができた。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導

2 相談受案件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定特定相談	29	16	26	23	19	32	15	19	33	23	17	19	271
障害児相談	0	0	0	0	2	1	2	0	0	3	0	1	9
四万十町相談	35	39	34	18	6	10	15	13	23	17	25	22	257

3 相談支援方法別件数（特定相談）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	36	30	74	58	56	63	54	33	72	44	38	57	615
来所	16	18	6	8	7	5	9	8	9	8	13	8	115
同行	12	9	10	7	3	3	4	5	7	5	3	7	75
電話	34	51	64	60	55	59	55	18	21	26	21	21	485
メール	3	0	2	2	1	2	11	2	4	3	0	0	30
関係機関連携	42	37	50	42	32	36	30	28	59	38	39	65	498
個別支援会議	3	4	4	6	3	1	4	2	2	0	3	5	37
その他	5	8	1	5	1	5	4	0	0	1	0	0	30
合計	151	157	211	188	158	174	171	96	174	125	117	163	1,885

4 相談支援方法別件数（障害児相談）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	4	0	0	1	3	0	2	0	0	2	1	0	13
来所	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	5
同行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	2	0	0	1	0	3	2	2	1	4	0	1	16
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関連携	2	0	0	2	1	1	3	3	0	4	1	1	18
個別支援会議	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	0	0	5	5	4	9	6	1	11	2	3	54

5 相談支援方法別件数（四万十町相談支援事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	4	1	3	3	1	2	7	2	3	2	3	5	36
来所	4	9	3	2	2	2	1	2	1	2	3	1	32
同行	1	4	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	10
電話	16	18	21	9	2	6	5	8	12	10	12	6	125
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関連携	7	3	4	1	0	0	0	0	4	1	5	7	32
個別支援会議	2	2	1	1	0	0	1	0	1	1	0	3	12
その他	1	2	1	2	1	0	0	0	2	0	1	0	10
合計	35	39	34	18	6	10	15	13	23	17	25	22	257

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

今年度も居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図りサービスの提供を行った。

利用状況として、延べご利用者数は前年度とほぼ同様の利用者数であった。ご利用者の介護度別で比較すると、事業対象者から要支援2のご利用者は358名と昨年度より36名増加している。要介護1から要介護5のご利用者は703名で昨年度よりは44名減少している。今年度は要介護4と要介護5のご利用者の定期的な利用があり、要介護度のご利用者が減少しても例年通りの収益となっている。しかし、介護認定で要介護から要支援に変更となるご利用者が増えてきているのも現状である。また、要介護3以上のご利用者が全ご利用者数の2割にとどまっている現状は変わらない。

利用内容として、4月～7月までは安定した運営が行えていたが、8月に入り自宅での転倒等で長期入院をされるご利用者が増えたことで利用延人数が減少した。また11月から骨折・脳出血・手術等により3か月にわたり長期入院となる方が多く、利用者数を回復することが難しかった。2月より長期でのご利用中止になっている空白枠を活用することで利用延人数の増加が見られた。

緑林荘は、町より災害時の福祉避難所に指定されており、災害時に高齢者や障害者など、災害弱者を受け入れる体制づくりを進めており、今年度9月には丸山地区の防災訓練に参加した。

今年度はパソコンの入れ替えとタブレットの導入を行った。入浴・血圧・体温等の各チェック表をタブレット入力に切り替え、業務の効率化を図り、ご利用者との関わりの時間を増やすことで充実した支援の提供ができるようになった。

また、新規公用車を乗用車に変更したことで、コースの改善が行えご利用者をお待たせする時間の短縮に繋がった。

新型コロナウイルス感染拡大防止にあたっては、乗車前の検温の実施・アルコールでの手指消毒の徹底を行っており、職員は勤務時のマスクの着用・検温・施設内の換気と消毒・公用車の消毒・手洗いうがいの徹底を行っている。

＜総合事業通所介護事業＞

総合事業通所介護計画書は3か月毎に見直しを行い、支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、下肢筋力を強化する為、外での歩行訓練も積極的に取組んだ。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。脳トレは特にご利用者からの人気が高く「もっと難しいのがほしい」「たくさんやりたい」と言った要望があるが、ご利用者個々の状態を見ながら対応を行っている。自宅での転倒にて、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱい状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月5日	お花見弁当
5月6日～18日	母の日プレゼント週間
6月3日～8日	父の日プレゼント週間
7月22日	オカリナ演奏会
9月9日	川口保育所交流会
9月28日	ガールスカウト高知県連盟第6団交流会
10月25日	松葉川保育所交流会
12月25日	クリスマス会・餅つき
12月26日～28日	忘年会
1月6日	新年会
2月3日	豆まき
2月28日	避難訓練(昼間火災想定)
3月23日	避難訓練(昼間地震火災想定)

(2) 機能訓練とレクリエーション

個別対応を基本とし、選択肢できるメニューの提供を毎回実施できた。午前中のレクリエーションは、職員個々の得意分野を活かして提供を行った。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。園庭の散歩など季節の風景を見ながら気分転換を図る方や、下肢力の補強にと目的をもち毎回休まず参加する方も増えた。百歳体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動を行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和2年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0 名	0 名	0 名
6 5 歳 ～ 6 9 歳	1 名	0 名	1 名
7 0 歳 ～ 7 4 歳	0 名	1 名	1 名
7 5 歳 ～ 7 9 歳	4 名	3 名	7 名
8 0 歳 ～ 8 4 歳	6 名	6 名	1 2 名
8 5 歳 ～ 8 9 歳	9 名	1 5 名	2 4 名
9 0 歳 ～ 9 4 歳	6 名	3 1 名	3 7 名
9 5 歳 ～ 9 9 歳	3 名	1 1 名	1 4 名
1 0 0 歳 以 上	0 名	2 名	2 名
合 計	2 9 名	6 9 名	9 8 名

※ 最高齢は102歳の女性（要介護5）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和2年3月31日現在）	8 5 歳 9 か月	9 0 歳	8 8 歳 9 か月
最 高 齢（令和2年3月31日現在）	9 8 歳	1 0 2 歳	

4 要介護別利用実績集計表（平成31年4月～令和2年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	27	25	27	26	25	27	26	26	24	25	26	310
1 日 平 均 利 用 者 数	34.46	32.59	32.92	34.07	32.46	33.20	32.04	31.08	28.3	27.38	27.84	29.8	31.34
事 業 対 象	24	43	33	40	39	37	31	39	35	35	31	31	418
要 支 援 1	52	54	48	41	44	45	50	35	19	26	31	30	475
要 支 援 2	125	118	103	108	99	98	108	117	116	110	105	111	1,318
要 介 護 1	225	204	216	204	168	170	186	163	154	131	123	137	2,081
要 介 護 2	277	261	236	318	294	284	301	284	253	193	225	256	3,185
要 介 護 3	151	163	147	156	134	134	122	102	105	98	105	131	1,548
要 介 護 4	42	37	37	40	66	44	49	50	32	46	57	60	560
要 介 護 5	0	0	0	13	0	18	18	18	20	18	19	19	143
延べ利用者数	896	880	823	920	844	830	865	808	734	657	696	775	9,728

（平成30年度 延べ利用者数 9,703名）

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

今年度も行政や地域の皆さんの意見を伺いながら、地域に根差したサービスの提供を行った。

ご利用者の状況については、延べ利用人数は昨年より213名増加したが、要介護度の低いご利用者の割合が増加し、報酬としては微増であった。現在要介護4・5のご利用者がいない状態で、新規利用の方は介護度の軽い方が多い。また、介護度の高い方は、利用回数も多いが、施設入所された際には稼働率が一気に下がってしまう傾向にある。

地域との関わりについては、地元の小・中学校・隣接する保育所との交流が活発であり、ふれあいの機会が多くあった。特に保育所とは合同でのクリスマス会やもちつき、お楽しみ会など共に楽しむことができた。合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで危機意識も高まっている。

介護予防の為、百歳体操やストレッチ体操、下肢筋力運動、レクリエーション、手芸、クッキングなどを継続することで、身体機能の維持、向上を目指した取り組みを行った。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 行事内容

四季折々にご利用者の楽しみに合わせた行事を行った。

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当(1回)
5月	興津保育園合同避難訓練、母の日週間、クッキング（おやつ）1回、歌謡ショー
6月	父の日週間、クッキング（昼食）2回
7月	クッキング（おやつ）2回
8月	クッキング（昼食）2回、興津地区津波避難訓練
9月	歌謡ショー、敬老の日週間、クッキング（おやつ）2回
10月	クッキング（おやつ）1回、運営推進会議
11月	興津保育園合同避難訓練、クッキング（昼食）1回
12月	もちつき、忘年会3回、クッキング（おやつ）1回、風水害時訓練
1月	新年会、クッキング（おやつ）2回
2月	節分、クッキング（昼食）1回
3月	クッキング（昼食）1回

(その他)

- * 誕生日に手作りのカードをプレゼント
- * 母の日、父の日に手作り記念品のプレゼント
- * 敬老の日にひまわりの鉢植えをプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。午前にはスポーツレクや卓上レクを、午後には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) ボランティア来園状況

- 5月21日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー(出演者12名、地域の方21名)
- 9月26日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー(出演者10名、地域の方39名)

(4) 保育所との交流

- 4月19日 保育所と合同職員会
- 5月25日 こいのぼり運動会
- 5月27日 合同避難訓練・消火訓練・防災ビデオ鑑賞
- 7月 3日 七夕飾りつけ
- 9月14日 保育所敬老会
- 10月 5日 秋の運動会
- 11月12日 合同避難訓練・消火訓練
- 11月27日 お店屋さんごっこ
- 12月 3日 クリスマスツリー飾りつけ
- 12月20日 クリスマス発表会
- 12月26日 もちつき
- 3月10日 卒園児プレゼント贈呈

(5) 小中学校との交流

- 12月12日 興津中学校全校生交流学习
- 3月 6日 興津小学校卒業生卒業プレゼント贈呈
- 3月 7日 興津中学校卒業生卒業プレゼント贈呈

(6) 地域との連携

- 6月11日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
- 7月 2日 興津地区自主防災組織令和元年度第1回総会
- 11月 5日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
- 2月26日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会

3 年齢別登録者数集計表

令和2年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0名	0名	0名
6 5 歳 ～ 6 9 歳	0名	1名	1名
7 0 歳 ～ 7 4 歳	0名	1名	1名
7 5 歳 ～ 7 9 歳	0名	2名	2名
8 0 歳 ～ 8 4 歳	0名	3名	3名
8 5 歳 ～ 8 9 歳	4名	10名	14名
9 0 歳 ～ 9 4 歳	1名	5名	6名
9 5 歳 以 上	0名	2名	2名
合 計	5名	24名	29名

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (令和2年3月31日現在)	88歳3ヶ月	86歳5ヶ月	87歳4ヶ月
最 高 齢 (令和2年3月31日現在)	92歳	99歳	

4 要介護別利用実績集計表（平成31年4月～令和2年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	26	27	25	27	26	25	27	26	26	24	25	25	309
1日平均利用者数	10.92	10.11	9.88	10.44	10.69	10.40	10.48	9.62	10.54	10.92	9.44	9.0	10.2
事業対象者	5	4	3	5	2	3	4	4	4	4	3	5	46
要支援1	11	19	15	17	24	24	26	22	23	19	25	24	249
要支援2	7	0	0	0	0	0	9	5	23	31	30	18	123
要介護度1	62	52	54	73	85	81	92	78	85	78	63	66	869
要介護度2	110	120	96	120	113	103	93	77	72	74	61	72	1,111
要介護度3	54	58	62	48	39	49	59	64	67	56	54	40	650
要介護度4	20	20	17	19	15	0	0	0	0	0	0	0	91
要介護度5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
延べ利用者数	284	273	247	282	278	260	283	250	274	262	236	225	3,154

（平成30年度 延べ利用者数 2,941名）

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度は長期入院者や介護者の介護の負担軽減のための短期入所生活介護の利用や定期的に入退所を繰り返すご利用者が多かった。また、入所申請をするご利用者も多く、施設入所となったケースが5件あり、契約するもサービス利用につながらないケースや病気等で亡くなる方、小規模多機能型施設への移行者もあった。要介護者、介護者ともに高齢化しており、在宅生活への不安が高まっている声も多く聞かれた。要支援者については、要介護への変更にともない受け持ち数は減少傾向にある。利用者を取り巻く家族関係の複雑さや虐待を疑われるケースも増え、実際に警察で保護されるご利用者もおり、市町村をはじめ、地域包括支援センター、病院、通所サービス事業所など関係機関との関わりがより密となった年でもあった。今後、難病や末期がんなど医療的なケアや緩和ケアが必要となるケースも増え、医学的な知識も習得していく必要がある。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	38
要支援2	5	4	4	4	3	3	3	4	5	5	5	5	50
要介護1	15	14	15	14	15	15	16	18	19	18	20	21	200
要介護2	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	11	123
要介護3	8	9	8	7	7	7	8	7	8	7	7	7	90
要介護4	2	2	3	4	4	1	1	3	2	3	3	3	31
要介護5	4	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	5	45
合計件数	47	47	47	47	46	43	46	51	53	52	54	56	589
新規利用	0	1	0	3	2	1	1	2	2	1	1	4	20

* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

[地域における公益的な取組]

「地域における公益的な取組への責務」として地域社会に積極的に貢献していくため、地域の方から直接意見を聴きながらより効果的な活動に繋がるよう推進委員会を設置し、その中で実施計画や状況等の検証を行い“明成会地域サポート隊”として活動に取り組む体制づくりを整備した。

今年度、地域における公益的な取組みとして以下の内容を実施してきた。

1 地域のお他機関とのネットワーク活動

- ・明成会秋まつりを開催（10月6日）
- ・地元の小学校・中高生との交流や実習生の受け入れを通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施
- ・訪問販売「スワン」、木曜日の園内喫茶
- ・近隣の部落の方々と合同でお花見を開催
- ・四万十町内の複数法人による公益的な取組の推進に向けた検討会への参加

2 福祉避難所の活用

- ・災害時に備えた地域の防災意識の向上及びコミュニティづくりの一つとして、福祉避難所運営訓練（12月1日）を実施
- ・地域の方も参加できる研修会（お菓子作り）を実施
（3月予定の認知症に関する研修は中止する）

3 既存事業の利用料の減額・免除

- ・介護保険事業（デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝）における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施

《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

① 法人研修

研修項目	開催日	対象者	内 容
経営理念・経営方針についての研修	6月20日	全職員	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、ディスカッションの実施。
人事評価者研修	5月8日 11月4日	第1次評価者	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
外部講師による研修会	8月25日	全職員 地域住民	対象者に地域の方も含め、外部講師を招き、“和菓子作り”を通して地域の方と交流を深めながら心身のリフレッシュを図った
国際福祉機器展 (東京ビッグサイト)	9月25～27日	4名	最先端技術を活用した介護ロボットなど福祉機器の国際展示会を見学することで知識向上等を図った。
人権学習会	10月24日	全職員	福祉の動向や福祉専門職としての役割について学習
福祉避難所運営訓練	12月1日	全職員 各関係機関他	福祉避難所開設・運営マニュアルに基づく福祉避難所の設置運営訓練を実施
事業継続計画（BCP）訓練	12月18日	全職員	事業継続計画の理解及び机上型訓練の実施 『南海トラフ地震や風水害など災害時の対応について』
法人研究発表会	1月30日	全職員	法人内の研究や積極的な取り組み内容について、互いに発表し合うことで内発的モチベーション向上を図った
救急法	2月5日	全職員	救急時（AEDなど）の対応について外部講師による講習会を実施

※ 3月1日予定の認知症研修は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止する

② 事業所研修

【 オイコニア 】

研修内容	開催日	目 的
夜間緊急対応	4月17日	夜間の緊急対応の実践を行い、マニュアルの徹底と見直しを行う。緊急時の対応と連携の強化を図る
リスクマネジメント	5月15日	福祉施設におけるリスクマネジメントについて知識を身に付け、事故を回避するための視点を養い事故防止につなげるとともに、日頃の記録の大切さや事故発生時の対応方法を学ぶ
リフレッシュ研修	7月17日	外部講師を迎え、初心者用ヨガを体験し、身体のリラックスと心を癒すことで業務によるストレスのリフレッシュを図る
講座	8月14日	精神障害や高次機能障害について、心理を理解して知識を活かし確かな技術で援助する支援を学ぶ
ノーリフト研修	9月18日	福祉機器や福祉用具の使用方法や特性の理解をするとともに腰痛予防に努め、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ
電解水の活用方法	10月9日	電解水についての基礎知識を身に付けたうえで活用方法を再検討し除菌や脱臭への取組みの推奨を図る
感染症	11月20日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、集団感染防止にむけた意識づけを図る
虐待防止	3月18日	「虐待防止に係るチェックリスト」を実施し、自身の言動・行動を振り返りチームでディスカッションをすることで、日常の支援の中に潜む虐待について考える。また、同じ悩みや不安を共有しながら障害者の権利擁護や虐待について理解を深めるとともに虐待防止に努める

【デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	目 的
マニュアル研修	4月12日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。
感染症研修	6月10日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策について理解を深める。
ヒヤリ・ハット事事故事例検討	7月10日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
各種の制度研修	8月8日	介護保険制度について理解する
福祉避難所開設訓練	9月11日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（机上訓練）
災害時研修	11月4日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練）
認知症ケア研修	11月25日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
食事支援研修	12月9日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
介護技術研修	1月10日	腰痛予防に努め、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ
ヒヤリ・ハット事事故事例検討	2月12日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。

【デイサービスセンターさくら貝】

研修内容	開催日	目 的
災害時研修	5月6日	非常災害時の対応について協議し、職員の連携を深める。
権利擁護研修 虐待防止	5月6日 12月9日	プライバシーの保護、個人情報保護、身体拘束、高齢者虐待について理解を深め、ご利用者の権利を守るサービスを常に実践する。
感染症研修	6月10日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策について理解を深める。
事故予防研修	7月10日 10月8日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
介護予防研修	9月16日	介護予防についての理解を深める。
認知症ケア研修	11月28日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
福祉避難所開設訓練	9月11日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（机上訓練）

食事支援研修	2月12日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
マニュアル研修	3月13日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。

【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	目的
経営理念について	4月25日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
災害時研修	5月23日 7月18日 9月19日 11月28日 1月16日 3月26日	火災、地震、風水害土砂災害を想定した訓練を実施し、災害時にご利用者を安全に避難できるよう職員間の連携と強化を図る
リスクマネジメント	6月22日	リスクマネジメントについて知識を身に付け、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
虐待防止	8月22日	虐待について理解をし、虐待予防につなげる
感染症	10月17日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、集団感染防止にむけた意識づけを図る
プライバシー保護	12月27日	プライバシーの保護や個人情報保護法等に理解を深め、ご利用者の権利擁護につなげる
相談支援の現状	2月20日	事業内容や現状について理解を図る

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。明成会のホームページを一新するとともに、引き続き各事業所の広報誌、フェイスブックについては定期的な更新をおこない明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信に取り組んだ。

[公益事業]

【配食サービス事業】

前年度同様に四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食の配食を行ってきた。

3月からご利用者のニーズが増え5月にはキャパオーバーの状態に陥っていたが、厨房の増改築工事が始まることから新規の契約は見合わせたことで8月から食数の減少が見られた。

消費税増税や収支状況等を踏まえ、委託先と協議した結果、10月から1食あたり50円値上げするとともに、委託費の事務手数料を見直すことになった。また、委託事業としての配食サービスの対応手順が見直され、居宅介護支援事業等の担当者と直接連絡調整を行い利用できる仕組みと変わり、また四万十町内のどこの事業所も一律自己負担が1食350円となった。

11月には町内の訪問介護事業者一か所閉鎖することとなり、在宅サービスを支える上での役割がより高くなってきた。2月には厨房工事が終わり、ご利用者のニーズにともない徐々に食数を伸ばすことができた。

配達は四万十町シルバー人材センターとの提携により派遣3名と職員1名の4名体制に加え、昼の1コースのみ日替わり職員が入り配送業務を行ってきたが、3月末で派遣が1名減員となり、今後は嘱託職員も含めた配送を検討していくこととした。

月別配食集計表

	実績数				実利用者数		
	公費	自費	小計	1日平均	公費	自費	小計
4月	2,878	201	3,079	102.6	96	10	106
5月	3,136	213	3,349	108.0	95	9	104
6月	2,869	227	3,096	103.2	92	11	103
7月	2,845	275	3,120	100.6	89	9	98
8月	2,585	203	2,788	89.9	88	8	96
9月	2,566	203	2,769	92.3	86	7	93
10月	2,738	274	3,012	97.1	88	9	97
11月	2,552	261	2,813	93.8	88	8	96
12月	2,485	253	2,738	91.3	83	9	92
1月	2,291	251	2,542	84.7	84	8	92
2月	2,330	252	2,582	89.0	86	8	94
3月	2,605	273	2,878	92.8	85	8	93
平均	2,656.6	240.5	2,897.1	94.9	88.3	8.6	97.0
前年度平均	2,511.2	193.8	2,705.1	88.9	90.3	7.8	98.2

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

昨年に引き続き、町内の不動産会社からの入居希望者の紹介による外部利用者の利用が増えているため、今年度の平均利用率は94.4%と昨年(90.7%)を上回り、現在は満室となっている。

しかし、建物の老朽化に伴って発生する様々な修繕が必要になっているため、定期的に点検を行い、計画的に修繕を行っていく。

利用状況一覧表(平成31年4月～令和2年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
外部	7	7	7	7	8	8	8	7	7	7	7	7	87
空室	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	6